

植物の調査及び収集

(昭和52・53年度)

新しい植物園にとって、最も困難でしかも急がれるものは、植物の収集であろう。幸い日本植物園協会に加盟の植物園をはじめ、外国の植物園から個人の植物愛好家にいたるまで、巾広い協力を得て、現在までのところおよそ7,000種類の植物を収集することができた。今後の目標である、10,000種類を達成するためには、足をつかった収集活動がますます必要である。

植物園の果すべきもうひとつの重要な任務として、現存する自然を守り、育てるための調査研究活動があろう。生態及び分布調査を中心に、自然の中で、自然に触れての活動こそ、その目的を達成させてくれるのである。

調査及び収集の具体的報告は、個々にゆずるとして、ここに昭和52年及び53年の活動概要をまとめた。

調査及び収集内容

調査地によって多少の差はあるが、共通している内容は次のようなものである。

1) 収集植物

- 園内植栽の充実のため(特に系統進化園用)
- 展示会用植物 (帰化植物展など)
- 挿穂・種子 (含種子交換用)
- 標本保存用等 (腊葉標本など)

2) 調査植物

- 分布調査 (野生ランなど)
- 植生調査等 (ブナ林など)

調査及び収集状況

調査地を遠隔地と広島県内又はその周辺と2つに分けると前者は年間3～4回、後者は約20回実施したが、これら公的な活動の他、職員各自の任意の活動が大きな成果をもたらしてくれた。

1) 遠隔地

昭和52年3月6～10日 伊豆
52・5・18～22 高知
52・12・7～10 東京

53・2・20～23 鹿児島
53・3・13～17 伊豆, 箱根
53・5・18～22 川崎
53・6・19～22 東京
53・10・26～29 埼玉

2) 広島県内又はその周辺

(昭和52年)

ア) 4・19～20 山口県大津郡三隅町
イ) 5・2 広島県安佐町宇賀峡
ウ) 6・14 " 佐伯郡極楽寺山
エ) 7・11 " 安佐町宇賀峡
オ) 7・29 三次市周辺
カ) 8・23 呉市周辺
キ) 9・23 広島県佐伯郡八幡川周辺
ク) 9・28 " " 三高町
ケ) 10・30～31 " 比婆郡道後山
コ) 11・14 広島市可部町堂床山
サ) 11・16 呉市郷原町
シ) 12・19 広島県安佐町宇賀峡
ス) 12・26 山口県大島郡大島町

(昭和53年)

セ) 1・28 広島県安芸郡坂町
ソ) 1・31 広島市可部町
タ) 4・18 広島県芦品郡新市町
チ) 4・25～26 山口県大津郡三隅町
ツ) 5・8～9 " 阿武郡須佐町
テ) 6・3 呉市郷原
ト) 6・4 広島県佐伯郡吉和村
ナ) 6・11 庄原市
ニ) 6・13 広島県高田郡吉田町
ヌ) 7・16 三次市
ネ) 8・2～3 山口県下関市
ノ) 8・31 尾道市
ハ) 10・3 山口県熊毛郡上関町
ヒ) 10・16 広島県豊田郡大崎町
フ) 10・28 " 佐伯郡吉和町
ヘ) 11・6 " 山県郡大朝町
ホ) 11・21 三次市
マ) その他

(橋本清美 記)